

# 令和5年度第1回北杜市防災会議議事録

1. 会議名 令和5年度第1回北杜市防災会議議事録
2. 開催日時 令和5年11月27日(月) 午後3時～
3. 開催場所 北杜市役所 明野総合支所 2階 大会議室
4. 出席者(敬称略)

出席委員：上村英司、古屋ひとみ、三浦昇、小林明、今福治、萩原英二、渡邊和彦、高橋隆、五十嵐壘、吉田英明、小野光一、向山建生、宮川勇人、中田治仁、小泉雅人、三井喜巳、清水市三、大芝一、加藤郷志、齊藤乙巳土、加藤寿、平井ひろ江、植松宏夫、小尾正人、小澤義久、進藤聡、花輪孝、三井博彦、皆川賢也、河手貴、坂本賢吾

欠席委員：留守洋平、鈴木純子、鈴木良長、小池啓一、日野水丈士、輿水清司、輿水伸二、小澤永和、由井克光

事務局：消防防災課 篠原賢、深澤朋彦、柳澤幸平

会議録署名委員：三浦昇、渡邊和彦

## 5. 議題

- (1) 開会
- (2) 市長あいさつ
- (3) 議事
  - 1 「北杜市地域防災計画」の改訂(案)について
  - 2 その他
- (4) 閉会

6. 公開・非公開の別 公開

7. 傍聴人の数 0名

8. 審議内容(司会進行：事務局)

- (1) 開会 事務局より開会の挨拶
- (2) 市長あいさつ
- (3) 議事

(司会)：北杜市防災会議条例に基づき、市長による議事進行をお願いする。

(議長：市長)：始めに議事録署名委員として北杜警察署署長三浦昇委員及び日本赤十字社山梨県支部渡邊和彦委員の2名を指名する。1「北杜市地域防災計画」の改訂(案)について、事務局より説明をお願いする。

(事務局)：「北杜市地域防災計画」の改訂(案)の内容を説明。

(議長)：説明が終わりました質問等あれば挙手をお願いする。

(委員)：児童生徒等の防災教育に消防団員等が参画するということであるが、学校行事の中に教員と協力し合っ、ある程度時間をもらって消防団が出向いて指導や講義をするような形となるのか。

(事務局)：具体的には決めてないが、県の計画がこうした記載になっているので、県の計画に準じて、消防団と協議を行いながら事業を進めていければと考えている。

(委員)：今後、年度初めには協議を行い年間の計画で分団長を中心に教育を普及していきたいのでよろしく願いたい。

(事務局)：わかりました。

(委員)：富士吉田市の避難者受入れの項目について、避難者の受入れを山梨県と調整となっているが、できればワンプッシュで受け入れをすることはいかがか。富士吉田市以外の受入れは行わないのか。

(事務局)：富士吉田市と協定を締結し受入れを行うこととなっており、それ以外の市町村からの受入れは想定していない。県との調整については、県を介して協定を締結しているので、富士吉田市とは毎年、協定の関係で話し合いを行っている。確認をとりながら対応したいと考えている。

(委員)：南海トラフの巨大地震の発生率が70～80%とあるが、何年間のうちの発生確率があるか。

(事務局)：想定しているのは、30年間で70～80%を想定している。

(委員)：その年数の明記を願いたい。地震動の予測の表に糸魚川ー静岡構造線断層帯中南部が震度6弱、南部区間が震度7となっているが、図と異なるのではないか。

(事務局)：中南部区間についての図については、白州地域に赤い震度7を示す部分があるため、2ページ目の表の市域の最大震度が震度6強と記載されているが、震度7に訂正を願いたい。南部区間については、明野地域に一つのメッシュに赤く示されておりますので、震度7に該当しますので、南部区間は震度7の表記となる。

(議長)：どこを直すかもう一度説明を

(事務局)：地震動予測の表がについて、糸魚川ー静岡構造線断層帯中南部区間の市域の最大震度が現在震度6強となっているが、こちらを震度7の表記に変更していただきたい。その下の糸魚川ー静岡構造線断層帯南部区間の震度7についてはそのままの表記で願いたい。

(議長)：南海トラフの30年の表記を。次にその他委員から何かあるか。消防防災課から何かあるか。

(事務局)：今後のスケジュールを確認する。本日の会議で説明した素案について、委員の皆様からの意見をとりまとめ、見直し案を作成し、1月下旬までに各委員に資料を配布し、2月中旬に第2回目防災会議を開催し、審議をしていただき、地域防災計画の公表を行うのでよろしく

お願いしたい。

(議長)：他に意見等なければ本日の議事はすべて終了とする。ご協力をご感謝する。

(5) 閉会

以上、令和5年度第1回北杜市防災会議の内容を記載し、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

署名委員

---

署名委員

---